

No.55

協会だより

令和元年 5 月号

一般社団法人 高知県木材協会

「^もり^まち^ちを活かす都市の木造化推進協議会」 設立



写真提供 (team Timberize) ・高知はりまや橋近辺を想定

全国木材組合連合会など関係中央団体により「森林を活かす都市の木造化推進協議会」が5月13日に立ち上げられた。

高知県でも、特定非営利活動法人 [team Timberize](#) と連携協定し、公共施設から民間施設に至るまで建築物の木造化や木質化を推進する取組みとして、今年度からさらに、高知県木材協会内の TOSAZAI センターの取組みを拡充していく。

「森林を活かす都市の木造化推進議員連盟」 設立総会

～木造都市実現に向けた枠組みの構築～

もり まち 森林を活かす都市の木造化推進議員連盟 設立趣意書



(議員連盟 H.P より)

戦後、戦禍により焦土と化した街と戦中・戦後の乱伐等により荒廃した森林の復興が国家的な命題となっていた我が国においては、1950年の衆議院「都市建築物の不燃化の促進に関する決議」以来、木材利用の抑制と都市の不燃化を目指して、都市建築物の非木造化に向けた施策が国を挙げて進められてきた。

以来60年余が経過し、日本の緑は見事に回復し、戦後造成された森林資源は今まさに利用期を迎えており、森林を保全し活力を維持していくため、木材利用の抑制ではなく計画的な活用が求められる状況となっている。そのような中、2010年には「公共建築物等における木材利用促進に関する法律」が成立し、これまでの流れが大きく変わり始めた。法を契機に、耐火建築部材等の技術革新や建築基準法の改正による木造建築への規制緩和等により中高層建築物等における木材利用の可能性が大きく広がり注目され始めてきている。

しかしながら、都市において深く根付いてきた木材は使えないというこれまでの常識を覆し、流れを大きく変えるまでには至っていない。こうした現状を変え、国民的課題に対応して行くためには、国を挙げて都市の木造・木質化への体制を構築することが喫緊の課題となっている。ついで、日本の森林を活かし、地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化等の国家的な課題へ貢献する観点に立って、都市の木造・木質化への実現に向けて、「森林を活かす都市の木造化推進議員連盟」を設立し、広く関係者に参加を呼びかけるものである。

平成31年4月18日「森林を活かす都市の木造化推進議員連盟」

先人が戦後営々として育んできた我が国の森林資源は今まさに利用期に達しており、森林の健全性の維持及び地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化等の観点から、その活用は森林・林業・木材産業関係者のみならず国民的な課題となっています。そうした中、今般、自由民主党の国会議員による「森を活かす都市の木造化推進議員連盟」が結成されこれまで木材があまり使われて来なかった都市の木造・木質化への取組みが加速化されようとしています。

林業成長産業化総合対策＜一部公共＞

【平成31年度予算概算決定額 24,050 (23,470) 百万円】

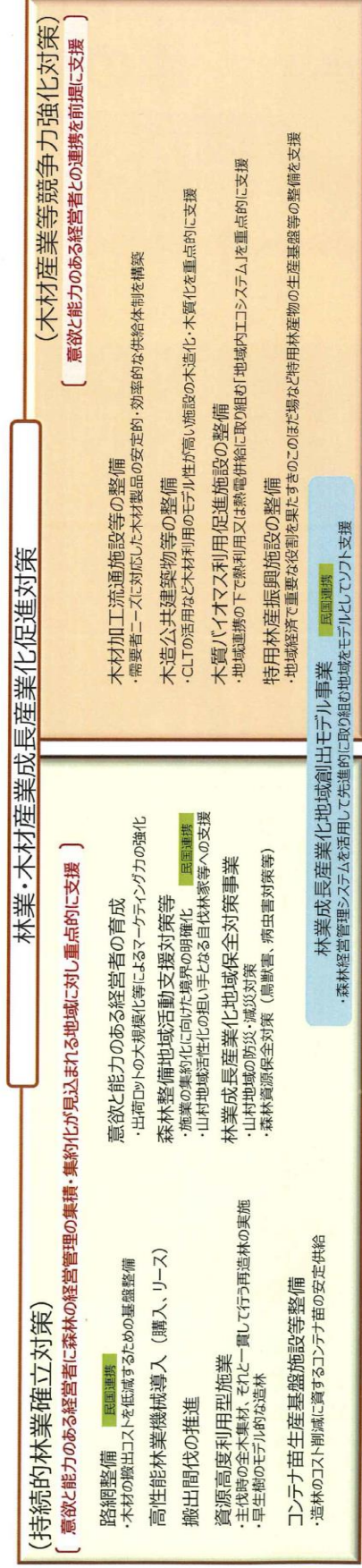
＜対策のポイント＞

新たな森林管理システムの下で森林の経営管理を担う意欲と能力のある経営者の育成や経営の集積・集約化を進める地域への路網整備・高性能林業機械の導入、川上から川下までを結ぶサプライチェーンの構築による流通コストの削減、CLT等の利用促進など木材需要の拡大等の取組を総合的に支援します。

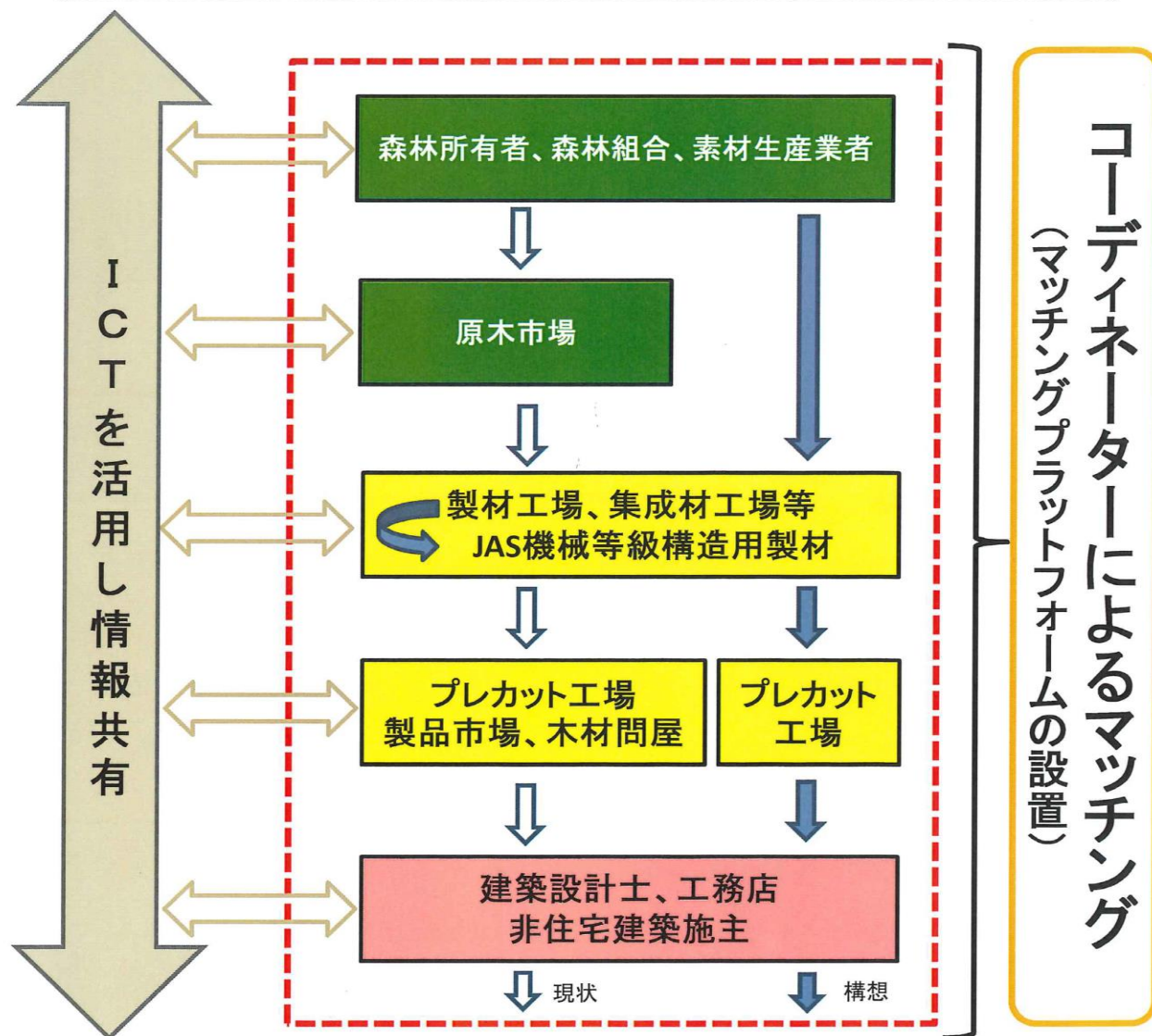
＜政策目標＞

国産材の供給・利用量の増加 (30百万m³ [平成29年] → 40百万m³ [平成37年])

＜事業の全体像＞



サプライチェーンマネジメントの構築（高知県）
非住宅建築物の木造化のサプライチェーンの最適化



※(一社)高知県木材協会は、「平成31年度効率的なサプライチェーンの構築支援助成事業」の企画提案書を提出し、これは、サプライチェーン構想イメージです。

(株)HIKARI ウッドステーション金沢 土佐材ブランドフェア



開催日：平成 31 年 4 月 12 日(金)

場所：石川県金沢市かたつ 株式会社 HIKARI ウッドステーション金沢

来客数：100 人 70 社

出荷量：役物・一般材 約 4 0 m³

北陸地域での販売拡大拠点である（株）HIKARI ウッドステーション金沢で第 4 回の土佐材ブランドフェアを開催した。今回は高知の製材所から直接入荷した材は少なかったが西垣林業のアイシンヒカリや高知竜馬で一旦仕入れた材が流れてきており、TOSAZAI コーナーでの展示はますます多かった。一般材をもっと入れて欲しいとの市場からの要望があった。当日は天気も良く朝から多くの来場者がいた。



Big Seminar 2019 大阪・東京会場で TOSAZAI を PR



上の写真は大阪会場のセミナー風景

大阪会場

開催日：平成 31 年 4 月 17 日(水)

場所：大阪府大阪市梅田グランフロント
ナレッジキャピタル 8F

来客数：約 120 人

東京会場

開催日：平成 31 年 4 月 19 日(金)

場所：東京都大手町サンケイプラザ 3F

来客数：約 150 人



(株)イケダコーポレーションが主催するセミナーに協賛企業として参加し、会場後方で TOSAZAI ブースを出展して PR 活動をおこなった。

海外での木造建築事例を紹介するドイツの建築士フロリアンナグラ氏の講演や地域に根差した非住宅建築物木造建築などについての武田光史氏の講演に各会場では多くの設計士などが聴講した。

第 54 回全国木材産業振興大会 第 1 回四国支部実行委員会



開催日：平成 31 年 4 月 18 日(木)

場所：高知会館

参加者：徳島県木材協同組合連合会 2 人・香川県木材協会 2 人・
愛媛県木材協会 2 人・高知県木材協会 7 人

第 54 回全国木材産業振興大会が今年は高知で開催されるため、四国四県の県連会長など担当者が集まり第 1 回目の実行委員会を開催した。

予算案など高知県から提案した素案が概ね了承され、実施に向けて各県の協力態勢を確認した。次回は現地視察なども兼ねて 7 月に開催される予定。

第 54 回全国木材産業振興大会 開催日:11 月 6 日(水)



大会：かるぽーと



懇親会：旭ロイヤルホテル

四国地域木材関連事業者 各位

一般社団法人全国木材組合連合会

四国支部長 小川 康夫

(一般社団法人 高知県木材協会会長)

第 54 回 全国木材産業振興大会へのご参加と大会誌広告ご協賛のお願い

日頃より木材産業発展へのご尽力・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

一般社団法人全国木材組合連合会・全国木材協同組合連合会の主催により持ち回りにて開催されております全国木材産業振興大会ですが、今年は光栄にも四国支部が開催の任を授かることとなりました。

過去には第 30 回大会(平成 7 年)を愛媛県にて、第 42 回大会(平成 19 年)を香川県にて開催したことから、今回の四国の大会は高知県にて全国の皆様をお迎えしようと今般準備を進めているところです。

昨年の広島にて開催されました第 53 回大会は大変素晴らしい内容で、出席者全員が大きな感銘を受けたところであります。
今年の高知大会に於きましては、これに比して恥ずかしくない内容を実行して、四国全体の木材産業の底力を全国に見せる良い機会となるよう皆様のご参加とご協力をお願い申し上げます。

大会当日には四国支部の席も多く設けておりますので是非ご来場をお願いします。
この記念すべき令和の時代の第 1 回目の木材産業振興大会としてご参加・ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第54回全国木材産業振興大会（高知大会）

- 主催 （一社）全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会
- 大会担当 （一社）全国木材組合連合会四国支部
- 開催地担当（一社）高知県木材協会
- 大会期日 2019年11月6日（水）
- 開催場所
 - ・大会：高知市文化プラザかるぼーと 大ホール
 - ・懇親会：ホテル日航高知旭ロイヤル 3F ゴールデンパシフィック
（大会会場より徒歩約5分）
- 参加者数 大会：約700人、懇親会：約400人（予定）
- 行事内容
 - ・第1部：大会議事
（国歌斉唱、開会挨拶、祝辞、来賓紹介、大会宣言等）
 - ・第2部：記念講演
（講師：高知県立高知城歴史博物館 館長 渡部 淳 氏）
 - ・第3部：表彰式
（挨拶、祝辞、表彰、代表謝辞、次期開催地代表挨拶等）
- 大会スケジュール（予定）
 - ・11月6日（水）

第1部	大会議事	13:00～14:30
第2部	記念講演	14:30～16:00
第3部	表彰式	16:00～17:30
	懇親会	18:00～19:30
 - ・11月7日（木）
オブショナルツアー（県内、四国島内でコース選定中）



土佐材流通促進協議会

〔展示会事業〕

◆株式会社 山木商行イベント (土佐材ヒノキ展示即売会)

日時：平成 31 年 4 月 20 日 (土)

場所：岐阜県岐阜



今回 2 回目の開催となる (株) 山木商行での土佐材展示即売会

「高知県産材土佐桧コーナー」と合わせ、木のおもちゃを会場隅に設置。西部木材センター佐竹理事長、昭和木材(株)の滝石常務も加わり、来場者らに土佐材ヒノキの紹介ほか、親子連れで訪れた小さい子供たちに、高知から送った木のおもちゃで触れ合ってもらう。

平成最後の展示即売会とあって、特別一般セリ市も行われ、約 800 人 (380 社) の工務店ほか建築関連業者らの来場で活気ある展示会となった。(土佐材販売約 80 m³)

(株) 山木商行は木材の販売以外に定温管理できる倉庫を 5 棟保有。倉庫事業として木材販売と合わせ、会社を支える事業に成長している。

◆土佐材展示即売会 新名木材市売株式会社

日時：平成 31 年 4 月 23 日 (火)

場所：名古屋海部郡



開設満 14 周年記念市(株式会社 東海木材相互市場)の新名木材市売(株)主催による土佐材展示即売会。昨年に比べ展示枠を 1 枠余分に提供して頂き、また整然と見栄えよく展示されほぼ完売した。

出展土佐材は、四万十ヒノキを中心に桹材、鴨居、柱等で販売材積は約 70 m³、535 万円。

高幡木材センター (松村氏) と上村製材所 (上村社長) もセレモニーに出席し、競り市に参加した。

通常総会

令和元年度 通常総会 高知県木材普及推進協会



日時：令和元年 5 月 17 日（金）

場所：高知会館

令和元年度の高知県木材推進協会（小川康夫会長）の総会は、5 月 17 日、高知会館で開催され、平成 30 年度の事業報告及び収支決算ほか令和元年度の事業計画案等を審議、いずれも原案通り承認、決定した。

平成 30 年度の会費収入は、昨年予算 8,500 千円を上回り 9,746 千円余り。

◆～主な活動の窓口である「木と人・出会い館」の活動～

- ◇ 30 年度の住宅相談者は 162 人（前年度 139 人）うち住宅相談件数は 137 件と前年度 30%増。
- ◇ 契約案件は 11 件（前年度 7 件）で契約率は 8.0%
- ◇ テレビ視聴率「木と人・出会い館情報」は平均 6.9%と前年度を上回り、創立 15 周年の活動を紹介する「記念誌」も発行した。



◆令和元年の活動

- ◇ 昨年に続き、「第 2 回もくもくエコランド 2019 の開催」支援
- ◇ 木育活動の取組み強化（新規・木のおもちゃ等に触れ合う木育ふれあい広場の設置も検討中）
- ◇ 「木と人・出会い館」活動の充実強化ほかセミナーや相談会、木のおもちゃの貸出事業などを引き続き行い、木造住宅や木材の普及を PR する。

今回、高知県造林推進コンクールにおいて、溝渕林業株式会社（南国市）の取組みに対し、協会より表彰状が贈られた。

令和元年度 通常総会 高知県林業活性化推進協議会

日時：令和元年 5 月 8 日（水） 会場：ちより街テラス

平成 30 年度事業報告及び収支決算、ほか令和元年度事業計画等を審議、原案通り承認、決定された。

平成 30 年度の新設住宅着工は 953 千戸（うち木造住宅は 542 千戸）

高知県第 3 期産業振興計画では、現状 3 割しかない木造率の低層非住宅建築物における木材利用の推進事業に対し継続して予算化。当協議会では国及び県のこれらの木材需要拡大に向けた活動を行っており、令和元年度も今年度に引き続き事業を行う。

【令和元年度事業計画】

- 木材関連イベントや展示会での木材普及・PR
- JAS 構造材等の需要拡大のためのラジオ番組による広報
- 公共的な建物や施設等への木製品の設置による木材 PR
- 非住宅建築物木造化推進のための相談窓口の高知市内中心部への設置検討



令和元年5月10日

関係者 各位

高知県木材産業協同組合連合会

理事長 小川康夫

「JAS構造材利用拡大事業、外構部の木質化対策支援事業」説明会の開催について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今後、人口減少に伴い住宅分野の木材需要拡大が厳しい状況の中、木造率が低位な非住宅建築物の木造化を推進し木材需要拡大を図る必要があることから、林野庁では昨年度から「JAS構造材利用拡大事業」に取り組んでいます。今年度は、補助対象建築物の範囲を広め、対象となるJAS製品も大幅に追加されるなど工務店等が利用しやすい補助制度に見直されています。

また、美しい街並みの景観、安全な通学路の確保、災害復興、防音対策等の生活環境の改善に効果を発揮する木塀、木柵、ウッドデッキなどの外構部の木質化を支援する「外構部の木質化対策支援事業」が今年度から開始されています。

そこで、当連合会では、両事業の利用をご検討いただける方々を対象として、両事業の概要や手続きの流れ、よくある相談・質疑等をご説明するため、以下の日程で説明会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。参加を希望される方は、6月4日（火）までに別紙参加申込書によりお申込みください。

両事業の詳細を紹介したホームページ <https://www.jas-kouzouzai.jp>

開催日	開催地	時間	定員	会場
6月11日(火)	安芸市	12:30～受付 13:00～説明会	70名	安芸市民会館 TEL:0887-35-3822
6月12日(水)	高知市	12:30～受付 13:00～説明会	150名	ちより街テラス TEL:088-883-9923
6月13日(木)	四万十市	12:30～受付 13:00～説明会	70名	中村地区建設協同組合会館 TEL:0880-34-3100

【お問い合わせ先】

一般社団法人高知県木材協会 野地、松岡、嶋崎

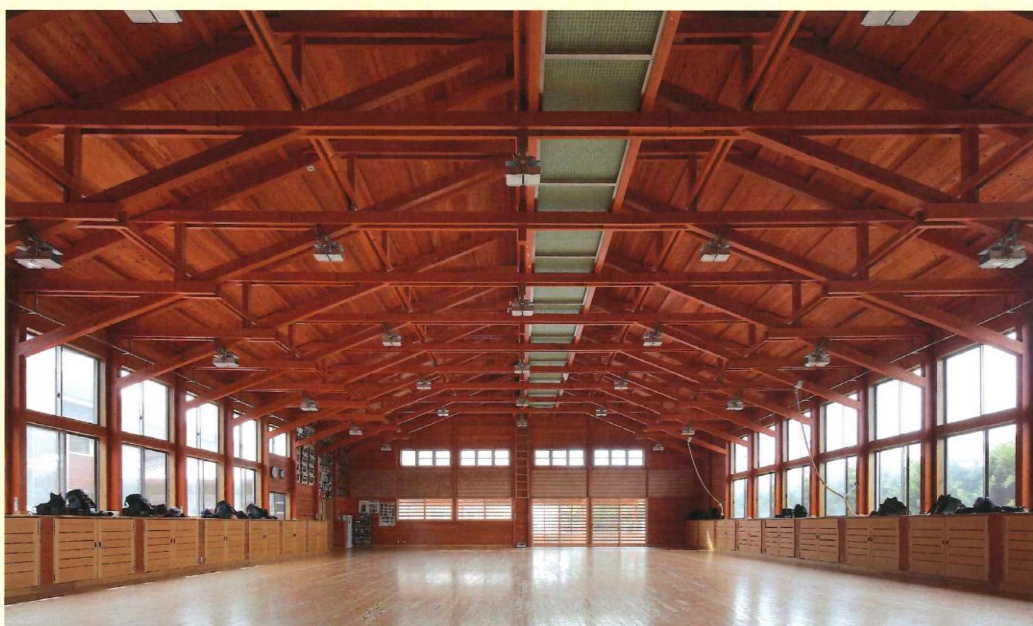
☎088-883-6721 FAX 088-884-1697

平成31年に

木のまちづくりに役立つ

JAS構造材利用拡大事業、 外構部の木質化対策支援事業（林野庁補助事業）

が実施されます。



千葉県立安房高等学校 柔剣道場 写真 水谷綾子 協力 山田憲明構造設計事務所 美建設計

「木のまちづくり」は地球温暖化防止に貢献

木材は、人と環境にやさしい資材です。

木材は地球温暖化の主な原因である大気中の二酸化炭素を固定する働きがあります。

「木のまちづくり」は地球温暖化防止に貢献しており、住みやすい暮らしを支えます。

私たちの住む街や日々の生活で沢山の木材・木製品を使うことによって、

環境にやさしい「木のまちづくり」をめざしましょう。

JAS構造材利用 拡大事業

非住宅の建築に、品質・性能が 明確なJAS製品を

JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された構造材です。この製品は、「日本農林規格等に関する法律」（JAS法）に基づき認証されたJAS工場で品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様提供されており、安心してお使いいただけます。

外構部の木質化の 支援事業

塀や柵などの外構部に木を使う ことで安全で美しい街並みを

木塀、木柵などの外構部の木質化は、美しい街並みの景観、安全な通学路の確保、災害復興、防音対策などの生活環境の改善に効果を発揮します。住宅、公共施設、農業分野などでの活用により、多様な恩恵が受けられます。

合法木材実績報告のお願い

合法木材供給事業者認定を取得された方は毎年その前年度内の取り扱いの実績報告を提出することが義務付けられています。

高知県木材協会では現在 166 社の認定をおこなっており、その実績のとりまとめについて 6 月中に行う予定です。

今年の調査対象期間は平成 30 年度(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)です。

個別に調査票を送付いたしますので今年もご協力を宜しく願います。

合法木材に関する受付窓口は令和元年 5 月より式地慶介(新任)が担当いたします。



合法木材とは

「それぞれの国の森林関係の法令において合法的に伐採されたことなどが証明された木材・木材製品」のことを言います。

高知県木材協会は高知県内における合法木材事業者の認定団体です。

～土佐材を使って暮らしを豊かに～

(高知の木の気になる本 HP より)

高知県内木材加工業者および木製家具製作者は、高知県立森林技術センターによる性能評価を受けることにより、製品の信頼性や安全性の向上に努めています。

森林技術センターは、森林・林業・木材産業に関して総合的に取り組む公設の試験研究機関で、高知県産杉・ヒノキ材の乾燥性能や強度性能の把握、床・壁構造等の構造性能、家具・建具等の強度・耐久性能、温熱性能、音響性能など、西日本でも有数の試験設備を有しています。高知県木材協会では、そこから得られた貴重なデータを共有し、ユーザーに、より高品質なメイドイン高知の木製品をお届けできるよう、協力しています



FM高知オリジナル番組

「木曜もくもく84ラジオ」再スタート！

高知県林業活性化推進協議会は、土佐材に関する様々な取り組みやイベントなどの情報を広く県民に発信し、「木を使おう」という機運を盛り上げます。

[放送期間] 令和元年 7月～12月

[放送日時] 毎週木曜日 14:47～14:55

[放送内容]

- ・ 高知の山や木、そして関連産業
- ・ 各市町村からの山や木に関する情報
- ・ もくもくエコランドなどのイベント紹介
- ・ 講演会お知らせ等々



[出演団体]

高知県林業活性化推進協議会会員有志

[出演者募集] 事務局まで電話、faxまたはメールをお待ちしています。

事務局 (一社)高知県木材協会 松岡

☎088-883-6721 📠088-884-1697

e-mail info@k-kenmoku.com

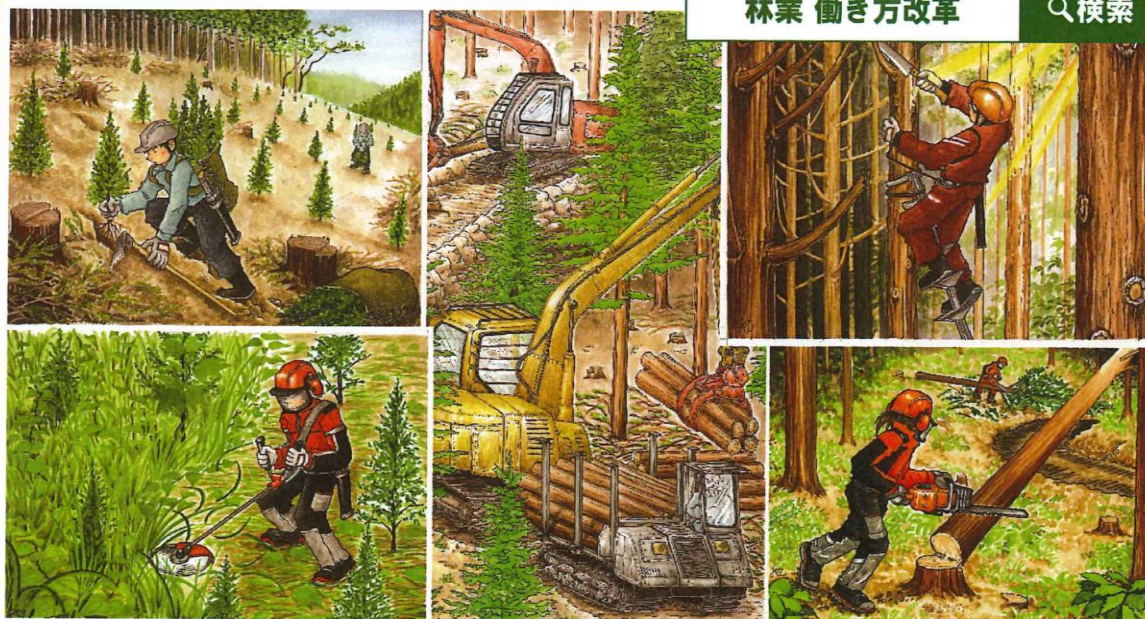
今日から始める

経営者向け

林業「働き方改革」の手引き

林業 働き方改革

🔍 検索



「働き方改革」は経営を変えるチャンスです
さっそく取り組みましょう！

「働き方改革」の前

- 退職者がでた。募集しても人が集まらない。このままでは、経営が維持できない。
- 稼げる時に稼がないといけ
ないので休みをあげられ
ない。従業員が疲れている。
- 重労働が多く、災害リスク
と経営リスクも高い。

「働き方改革」の後

- 「働き方改革」で**会社のイメージがアップ。応募者が増加！**
- 週休二日制を導入し、**生産性も向上！**
- 作業マニュアルの徹底で**安全意識が改善！作業も効率化！**

「安全対策だけを言ってもダメ。作業方法の統一が必要。」

▶▶▶ 事例：統一的な作業ルールで災害減と作業効率化を達成（吾妻森林組合／群馬県）

対策が
必要

労働災害が発生。災害減少が課題に。

業務を
検証

作業班同士で情報が十分に共有されていない。

計画
実施

現場作業のルールを設定しよう！
技術力向上研修会を開催しよう！

副次的
効果も

体力的な負担が減り、労働災害が減少！
作業効率化や機械維持コストの削減も達成！



「職員が定着しなければ、事業全体が負の循環に陥ってしまう。」

▶▶▶ 事例：現場見学でイメージギャップを解消（有限会社丸大県北農林／岩手県）

課題を
認識

高い離職率が経営課題に。職員が定着しなければ
事業が負の連鎖に陥ってしまう。

原因を
特定

採用時のイメージギャップが原因。

計画
実施

入社前に業務内容を見てもらおう！
採用面接時に現場見学を実施！

達成&
ステップアップ

職員の定着率が改善し、生産活動も安定！
次の取組（週休二日制）にチャレンジ！



「みんな休めるのであれば休みたい。まずはやってみることに。」

▶▶▶ 事例：従業員の目的意識を改革して週休制を実現（安藤山林緑化有限会社／北海道）

強まる
危機感

繁忙期には休みがとれず、労働負担も大きい。
このままの事業を続けていると従業員確保が困難に。

決断

社長自ら通年での週休制を率先して導入しよう！

計画
実施

1日の仕事量が不明確になっている。
毎日のミーティングで従業員に目標と計画を伝え
仕事の終わりを明確にしよう！

達成

従業員の仕事に対する目的意識が改善！
長時間労働を改善して週休制を実現！



手引きは下記のホームページでダウンロードできます
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/hatarakikata/ringyou.html>

手引きや林業の「働き方改革」に関するお問い合わせ先
 林野庁 林政部 経営課 林業労働対策室

03-3502-1629 （受付：平日9：30～17：30）

（2019年3月作成）

【住宅着工情報】

資料（１）全国住宅着工数

平成31年3月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

	総数		持家		賃貸		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	2,443	-13.2	827	18.1	1,216	-30.0	5	0.0	395	6.2	246	20.6	149	-11.3
青森	470	8.8	252	6.3	177	67.0	1	-96.7	40	-32.2	0	0.0	40	-18.4
岩手	751	33.4	288	-5.6	379	78.8	2	-	82	78.3	0	0.0	82	78.3
宮城	1,401	2.9	435	-3.1	538	-17.4	6	500.0	422	62.3	150	-	272	7.9
秋田	354	26.4	254	21.0	58	114.8	1	0.0	41	-2.4	0	0.0	41	-2.4
山形	514	-3.9	263	21.2	142	-23.7	2	-81.8	107	-11.6	0	-100.0	107	94.5
福島	768	-5.2	377	-10.9	276	4.2	3	-57.1	112	-2.6	0	0.0	112	-2.6
茨城	1,469	14.9	766	18.2	409	12.4	19	280.0	275	5.0	0	0.0	275	6.6
栃木	928	-20.8	471	-8.0	279	-23.1	0	-100.0	178	-39.7	0	-100.0	178	-22.3
群馬	844	-11.8	479	0.8	199	-28.2	2	-	164	-20.0	0	0.0	164	-20.0
埼玉	4,087	5.8	1,087	21.3	1,447	-1.9	109	5,350.0	1,444	-3.1	209	-60.8	1,235	29.0
千葉	3,094	17.2	953	28.1	934	-16.5	6	100.0	1,201	55.4	365	324.4	824	20.8
東京	15,289	31.0	1,347	14.7	6,119	3.1	29	-58.6	7,794	73.4	6,183	114.9	1,565	-0.5
神奈川	5,514	10.1	1,065	3.0	1,828	-14.9	1	-66.7	2,620	43.8	1,213	242.7	1,345	-2.9
新潟	847	-2.9	560	13.6	215	-24.3	3	0.0	69	-25.0	0	0.0	69	-25.0
富山	528	-9.7	346	8.5	135	-40.5	3	50.0	44	18.9	0	0.0	44	18.9
石川	732	26.6	378	18.5	155	-15.3	1	-	198	160.5	72	-	109	53.5
福井	467	20.7	237	21.5	188	13.3	2	-	40	53.8	0	0.0	40	53.8
山梨	367	-2.9	235	-2.1	105	11.7	0	0.0	27	-38.6	0	0.0	27	-38.6
長野	988	6.5	489	5.4	192	-27.3	72	-	235	17.5	110	23.6	125	12.6
岐阜	909	7.6	443	-0.9	276	46.0	2	-33.3	188	-8.7	28	-50.0	160	6.7
静岡	1,642	10.7	899	8.6	424	15.8	11	175.0	308	8.1	58	-29.3	250	23.2
愛知	5,753	15.8	1,566	6.0	1,987	2.1	2	-92.9	2,198	45.1	1,017	103.0	1,181	18.9
三重	892	34.3	452	18.6	349	110.2	0	-100.0	91	-19.5	0	-100.0	91	15.2
滋賀	707	-13.9	345	14.2	212	-38.9	0	-100.0	150	-10.7	65	30.0	85	-28.0
京都	1,276	19.3	407	5.4	400	-2.9	1	-66.7	468	74.0	233	375.5	235	6.8
大阪	6,120	13.9	967	15.4	2,532	-4.8	69	130.0	2,552	38.3	1,686	61.6	810	2.1
兵庫	2,667	-3.0	758	2.2	1,053	6.5	32	1,500.0	824	-19.0	375	-26.8	447	-11.5
奈良	450	-6.8	231	18.5	104	-31.6	0	0.0	115	-15.4	0	0.0	103	-24.3
和歌山	406	39.0	236	52.3	81	-15.6	0	0.0	89	117.1	51	-	38	-7.3
鳥取	190	-15.2	154	28.3	16	-82.0	0	-100.0	20	53.8	0	0.0	20	53.8
島根	311	46.0	126	-3.8	176	151.4	0	-100.0	9	-10.0	0	0.0	9	-10.0
岡山	984	-2.3	398	16.4	464	-1.7	0	-100.0	122	-36.1	42	-57.1	80	-14.0
広島	1,357	-15.3	400	1.8	526	-31.1	0	-100.0	431	-3.1	167	-13.9	246	-2.0
山口	681	-11.3	308	18.5	268	-3.6	15	200.0	90	-60.0	22	-85.0	68	-12.8
徳島	448	23.8	169	5.0	270	53.4	0	0.0	9	-64.0	0	0.0	9	-64.0
香川	660	12.8	232	1.8	263	4.0	0	-100.0	165	61.8	116	197.4	49	-22.2
愛媛	726	38.3	317	4.6	241	115.2	0	0.0	168	52.7	102	45.7	64	60.0
高知	249	6.4	124	-8.1	98	27.3	0	0.0	27	22.7	0	0.0	27	22.7
福岡	3,280	10.3	771	9.4	1,742	13.9	7	16.7	760	3.7	288	-26.9	466	37.5
佐賀	483	53.8	144	-2.0	162	14.9	0	-100.0	177	608.0	106	-	71	184.0
長崎	439	-18.9	230	2.7	164	-41.6	0	-100.0	45	87.5	18	-	27	12.5
熊本	958	-39.3	500	-20.5	293	-47.6	1	-66.7	164	-57.5	36	-86.7	128	17.4
大分	411	-16.1	228	12.3	134	-46.6	2	100.0	47	34.3	0	0.0	47	34.3
宮崎	550	1.1	266	0.8	250	13.6	2	-	32	-46.7	0	0.0	32	-46.7
鹿児島	814	49.1	388	13.8	232	96.6	2	-71.4	192	140.0	78	-	114	42.5
沖縄	1,340	6.9	236	27.6	705	-26.4	27	440.0	372	254.3	294	488.0	78	41.8
合 計	76,558	10.0	22,404	8.9	28,413	-4.5	440	62.4	25,301	33.0	13,330	69.5	11,738	7.1
北海道	2,443	-13.2	827	18.1	1,216	-30.0	5	0.0	395	6.2	246	20.6	149	-11.3
東北	4,258	7.0	1,869	1.5	1,570	8.5	15	-70.0	804	25.0	150	127.3	654	17.0
関東	32,580	16.8	6,892	11.4	11,512	-4.4	238	183.3	13,938	45.4	8,080	101.7	5,738	5.4
北陸	2,574	6.3	1,521	14.7	693	-19.4	9	80.0	351	51.9	72	-	262	15.9
中部	9,196	15.5	3,360	7.2	3,036	13.8	15	-61.5	2,785	31.4	1,103	63.9	1,682	18.0
近畿	11,626	7.8	2,944	12.5	4,382	-5.9	102	161.5	4,198	20.8	2,410	45.7	1,718	-5.2
中国	3,523	-7.6	1,386	11.2	1,450	-13.3	15	25.0	672	-24.0	231	-47.4	423	-4.9
四国	2,083	22.1	842	1.8	872	41.1	0	-100.0	369	42.5	218	100.0	149	-0.7
九州	6,935	-0.7	2,527	0.6	2,977	-4.0	14	-53.3	1,417	5.5	526	-20.9	885	31.7
沖縄	1,340	6.9	236	27.6	705	-26.4	27	440.0	372	254.3	294	488.0	78	41.8
首都圏	27,984	20.7	4,452	15.7	10,328	-3.2	145	85.9	13,059	52.2	7,970	107.0	4,969	8.1
中部圏	9,196	15.5	3,360	7.2	3,036	13.8	15	-61.5	2,785	31.4	1,103	63.9	1,682	18.0
近畿圏	11,626	7.8	2,944	12.5	4,382	-5.9	102	161.5	4,198	20.8	2,410	45.7	1,718	-5.2
その他地域	27,752	0.2	11,648	6.1	10,667	-9.2	178	54.8	5,259	8.6	1,847	9.4	3,369	7.9

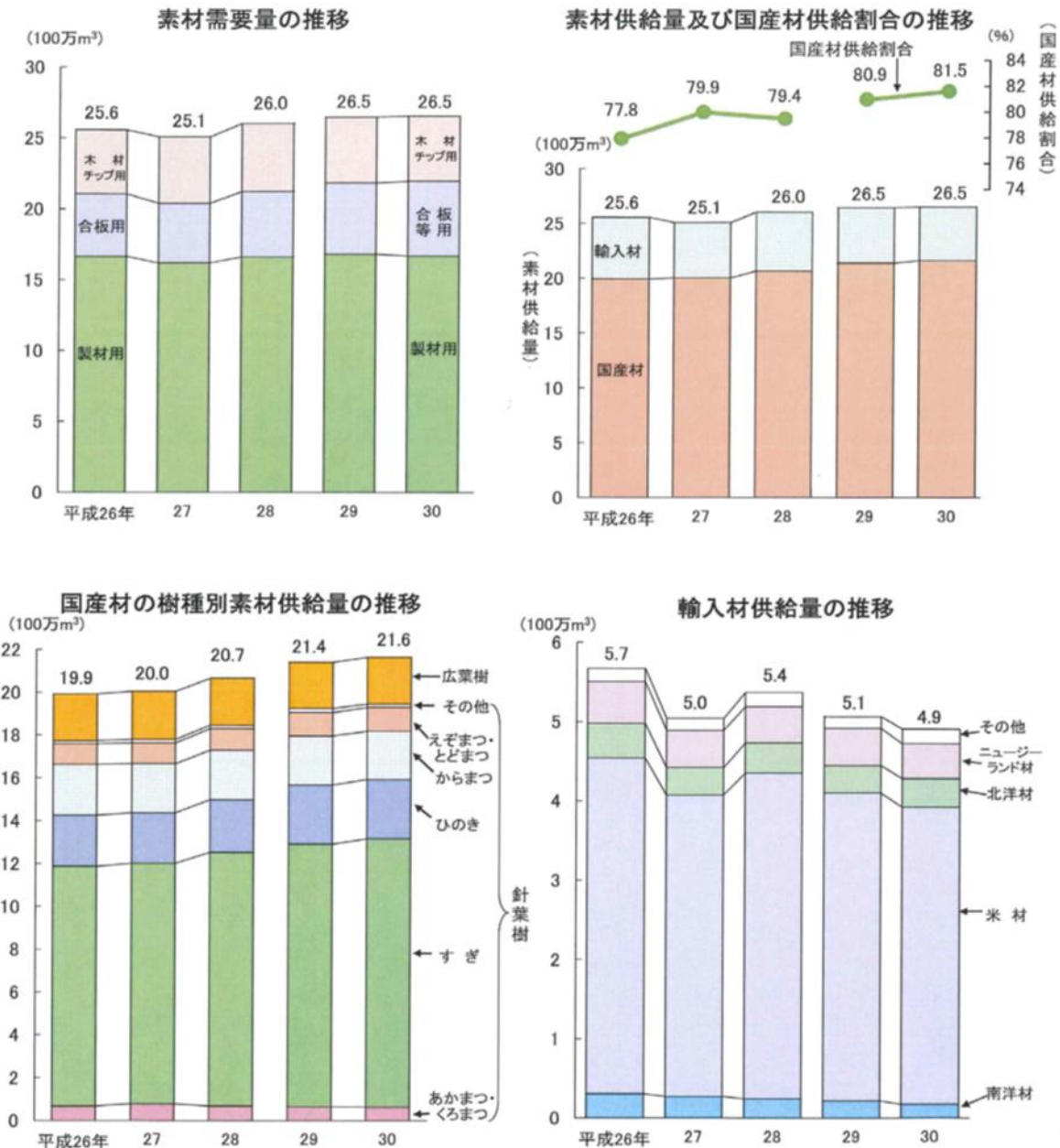
政府統計資料による

平成30年木材統計

(4月25日公表)

平成30年の素材需要量は2,654万5千 m^3 で、このうち、素材需要量の約6割を占める製材用は1,667万2千 m^3 で、前年に比べ13万 m^3 (0.8%)減少した。

素材供給量のうち国産材は2,164万 m^3 、輸入材は490万5千 m^3 で、素材供給量に占める国産材の割合は81.5%となった。



資料:『平成30年木材統計』(平成31年4月)(農林水産省統計部)

→ <http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#y>

注: 1 素材とは、用材(薪炭材及びしいたけ原木を除く。)に供される丸太及びそま角をいい、輸入木材にあっては、半製品(大角、盤及びその他の半製品)を含めた。

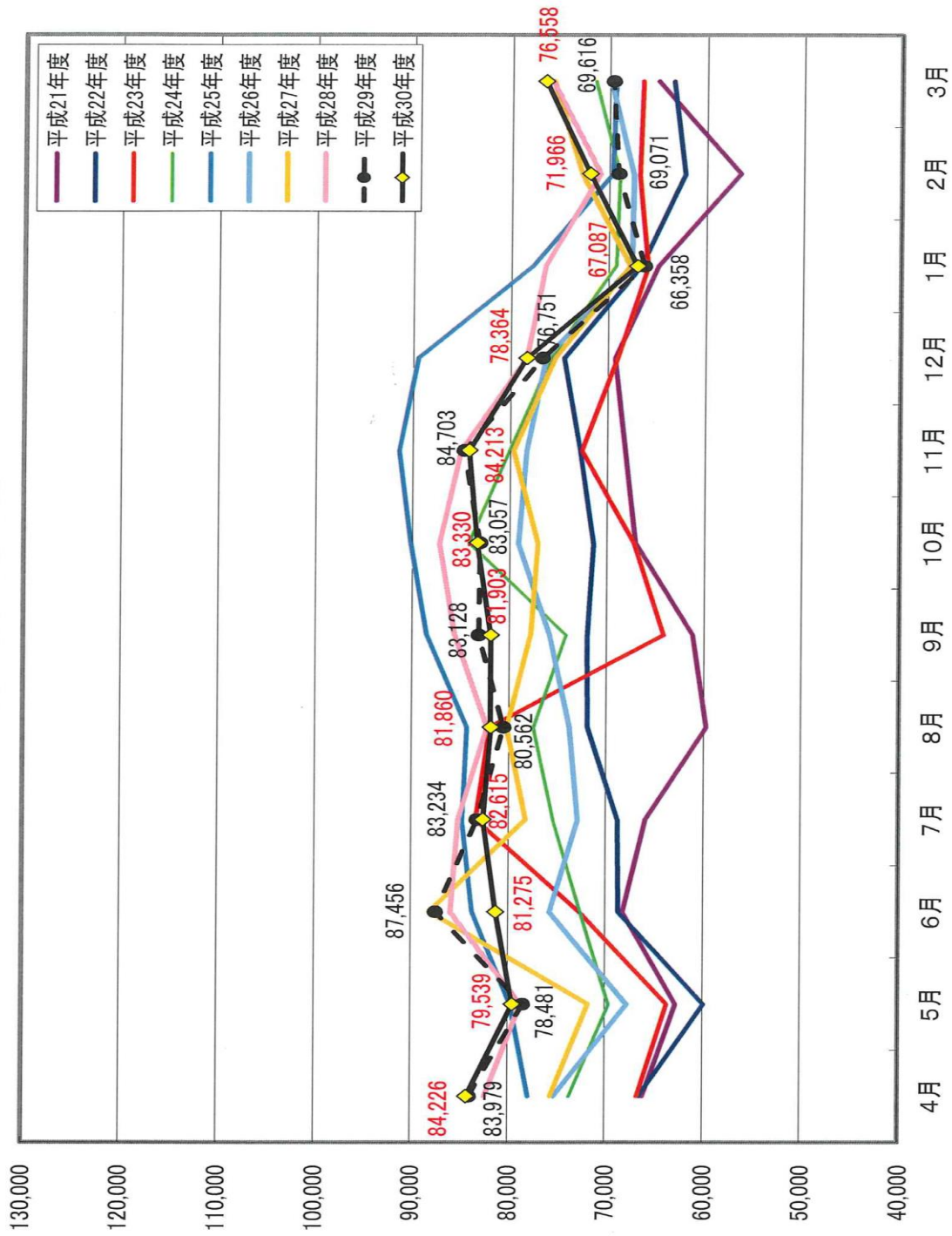
2 素材需要量とは、製材工場、合板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量である。

3 素材供給量とは、素材需要量(製材工場、合板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量)をもって供給量としている。

4 平成29年以降の調査から、素材需要量のうち「合板用」を新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更したため、平成28年以前の「素材需要量」の計とは数値を比較することができない。

新設住宅着工戸数の推移の比較(総戸数)
(平成21年度～平成30年度)

戸数



平成30年度新設住宅：総括表

高 知 県

		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年計	1 月	2 月	3 月	年度計
新設住宅計		232	130	234	223	254	362	362	263	267	373	283	305	3,288	204	229	249	3,374
建築主別	公 共	4	0	0	0	8	10	11	0	0	2	60	7	104	0	0	80	180
	民 間	228	130	234	223	246	352	351	263	265	313	281	298	3,184	204	229	169	3,194
利用関係別	持 家	106	80	135	105	123	135	149	138	144	127	121	135	1,498	124	117	124	1,542
	貸 家	106	21	77	37	108	126	136	96	98	190	73	86	1,154	60	47	98	1,155
	給与住宅	0	7	0	0	1	4	0	6	1	1	6	10	36	0	11	0	40
	分譲住宅	20	22	22	81	22	97	77	23	24	55	83	74	600	20	54	27	637
資金別	民間資金	203	113	209	202	222	335	310	239	245	283	252	282	2,895	163	200	148	2,881
	公的資金	29	17	25	21	32	27	52	24	22	90	31	23	393	41	29	101	493
	公営住宅	4	0	0	0	8	10	11	0	2	60	2	7	104	0	0	80	180
	住宅金融機構	10	10	14	9	11	11	13	11	17	14	9	10	139	27	9	13	154
構造別	都市再生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	15	7	11	12	13	6	28	13	3	16	20	6	150	14	20	8	159
	木 造	161	111	187	142	156	207	212	160	228	229	183	169	2,145	184	155	152	2,177
	非木造	71	19	47	81	98	155	150	103	39	144	100	136	1,143	20	74	97	1,197
	SRC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	RC	0	14	1	60	32	121	91	6	13	89	56	56	539	0	44	87	655
工法別	S	71	5	46	21	66	34	59	97	26	55	44	78	602	20	30	8	538
	CB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	4
	在来工法	115	113	139	175	206	287	277	228	174	222	194	221	2,351	125	185	229	2,523
建て方別	プレハブ	71	7	50	27	31	28	38	24	25	58	49	63	471	21	30	11	405
	枠組工法	46	10	45	21	17	47	47	11	68	93	40	21	466	58	14	9	446
	一戸建	126	104	161	135	144	160	180	164	171	150	157	156	1,808	142	150	149	1,858
	長屋建	82	12	45	24	20	68	73	12	70	92	40	36	574	62	8	10	515
前年新設住宅計	共 同	24	14	28	64	90	134	109	87	26	131	86	113	906	0	71	90	1,001
	前年比	165	212	290	351	176	354	322	342	313	256	271	274	3,326	232	130	234	3,255
前年比	差	140.6%	61.3%	80.7%	63.5%	144.3%	102.3%	112.4%	76.9%	85.3%	145.7%	104.4%	111.3%	98.9%	87.9%	176.2%	106.4%	103.7%
	持 家	67	-82	-56	-128	78	8	40	-79	-46	117	12	31	-38	-28	99	15	119
前年比	貸 家	94.6%	61.5%	120.5%	79.5%	100.8%	95.7%	123.1%	100.0%	107.5%	104.1%	74.7%	101.5%	96.1%	117.0%	146.3%	91.9%	101.0%
	給与住宅	530.0%	34.4%	65.8%	25.2%	270.0%	71.2%	78.6%	64.9%	148.5%	226.2%	83.0%	121.1%	96.8%	56.6%	223.8%	127.3%	96.4%
前年値	分譲住宅	60.6%	104.8%	39.3%	112.5%	157.1%	269.4%	481.3%	41.1%	21.2%	122.2%	395.2%	296.0%	118.1%	100.0%	245.5%	122.7%	137.9%
	持 家	112	130	112	132	122	141	121	138	134	122	162	133	1,559	106	80	135	1,526
前年値	貸 家	20	61	117	147	40	177	173	148	66	84	88	71	1,192	106	21	77	1,198
	給与住宅	0	0	5	0	0	0	12	0	0	5	0	45	67	0	7	0	69
前年値	分譲住宅	33	21	56	72	14	36	16	56	113	45	21	25	508	20	22	22	462
	公庫前年値	15	13	13	22	21	21	21	18	16	17	17	22	216	11	9	16	211
前年値	〃前年比	66.7%	76.9%	107.7%	40.9%	52.4%	52.4%	61.9%	61.1%	106.3%	82.4%	52.9%	45.5%	64.4%	245.5%	100.0%	81.3%	73.0%

木材価格（平成31年4月）（概数）

— 素材価格は、すぎ中丸太が前月に比べ2.2%減少
製品卸売価格は、すぎ正角が前月並み —

【調査結果】

平成31年4月の木材全国価格（主要品目）の概要は、以下のとおりである。

表 主な素材価格及び木材製品卸売価格（全国）

品 目	規 格	価 格	対前月差	対前月比	対前年 同月比
		円/㎡	円/㎡	%	%
素 材 価 格					
す ぎ 中 丸 太	(径 14.0 ~ 22.0cm、長 3.65 ~ 4.0 m)	13,400	△ 300	97.8	101.5
ひ の き 中 丸 太	(径 14.0 ~ 22.0cm、長 3.65 ~ 4.0 m)	18,200	△ 400	97.8	98.9
米 つ が 丸 太	(径 30.0cm 上、長 6.0 m 上)	26,800	0	100.0	100.4
製 品 卸 売 価 格					
す ぎ 正 角	(厚 10.5cm、幅 10.5cm、長 3.0 m)	61,600	0	100.0	100.8
ひ の き 正 角	(厚 10.5cm、幅 10.5cm、長 3.0 m)	76,500	0	100.0	99.7
米 つ が 正 角 (防 腐 処 理 材)	(厚 12.0cm、幅 12.0cm、長 4.0 m)	82,900	0	100.0	100.7

注： 一部の調査項目について、修正作業中のため一時的に掲載をとりやめております。
ご迷惑をおかけしますが、修正作業完了までしばらくお待ち願います。

図1 素材価格の推移（全国）

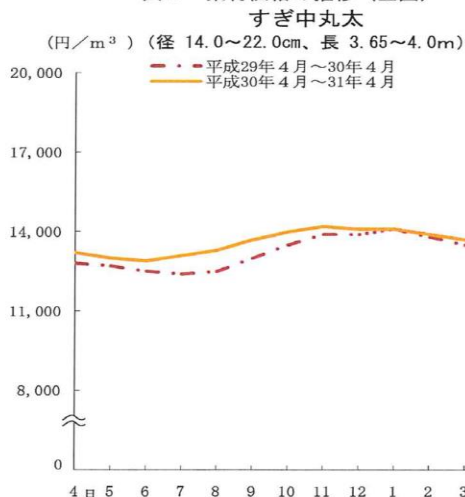
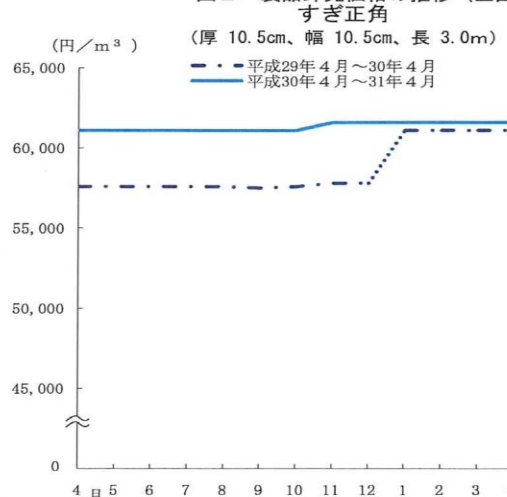


図2 製品卸売価格の推移（全国）



注：1 平成30年1月から、平成28年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

2 すぎ中丸太(径 14.0~22.0cm、長 3.65~4.0m)の平成30年7月及び8月分の全国価格は、平成30年7月豪雨により愛媛県で調査票を回収できなかった調査対象工場を除いて算出した。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 <http://www.maff.go.jp/i/tokei/kouhvu/mokurvui/kakaku/index.html#m> 】

株式会社 ゲンボク市場 7月で最終市売り！

株式会社ゲンボク市場（尾崎 徳七社長）は、市場敷地の団地開発に伴い
7月12日（金）を最後の市とし、9月30日（金）をもって市場運営を終了する事となった。

創立は昭和28年12月。約65年に渡り、県内外の製材業者らに高知県産優良材を提供。老舗の素材市場として長年、木造建築資材と多様な木材需要にも対応し高知県の木材産業を支えてきた。
現在、取引素材生産業者は約50社で、買い方は徐々に減少し80社ほど。
買い方含め県内外の関係者からも惜しまれながらの閉鎖となる。



◆ 文書案内

謹啓 時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます
平素は格別の御高配を賜り深く御礼申し上げます
さて突然ではございますが、この度、弊社は県市による産業団地開発のため、
やむなく（7月12日）を最後の市とし、（9月30日）をもちまして市場運営を終了させていただきます

長年に渡る並々ならぬご愛顧を頂きました皆様には御迷惑をお掛けしますが、
事情ご賢察（けんさつ）の上、何卒御理解を賜りますようお願い申し上げます

今後に関しまして、会社自体は解散せず、事務所は移転し事務対応は引き続きできるようにする
予定です
取り急ぎ、皆様にご案内申し上げますとともに、最後まで当市場をご愛顧いただきますよう重ね
てお願い申し上げます。

株式会社 ゲンボク市場 尾崎徳七

◆行事予定（令和元年6～7月）



下記の日程にて平成 31 年度(令和元年度)「JAS 構造材利用拡大事業」の説明会を開催します。

◆ 6 月 11 日(火) 安芸市 安芸市民会館	受付 12:30	説明会 13:00
◆ 6 月 12 日(水) 高知市 ちより街テラス	〃	
◆ 6 月 13 日(木) 四万十市 中村地区建設協同組合会館	〃	

その他の行事

◆ 6 月 7 日（金）：高知県森林組合連合会	会場（三翠園）am. 9：00～
◆ 6 月 13 日（木）：高知県中小企業団体中央会	会場（城西館）pm. 3：30～
◆ 6 月 14 日（金）～18 日（火）：「木のころをつたえる 高知木工フェア」高知大丸 5 F	
◆ 6 月 17 日（月）：公開シンポジウム「大径材の夜明けぜよ！」（高知会館）	pm. 1：10～4：30
◆ 6 月 19 日（水）：第 6 回東京中央木材市場（優良高知土佐材展）	
◆ 7 月 11 日（木）：神戸商談会	
◆ 7 月 13 日（土）：Aishin・Hikari（土佐材展）	
◆ 7 月 17 日（水）：西垣林業株式会社 名古屋市場（土佐材展）	
◆ 7 月 17 日（水）～19 日（金）：インテリアライフスタイル	

次世代へつなぐ ウッドファースト社会 を目指して

木を育て～木に親しみ～木を活かす



一般社団法人 高知県木材協会

〒781-0801 高知市小倉町 2 番 8 号

☎ 088-883-6721 fax 088-884-1697

（写真は山西プロウッドフェアで遊ぶ子供たち 5 月 25 日・愛知県）

<http://www.k-kenmoku.com>